

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

7

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 01006199 A
(43) Date of publication of application: 10.01.1989

(51) Int. Cl D21H 5/22
B32B 5/18, B32B 27/10, D21H 1/02

(21) Application number: 62162100	(71) Applicant: MIURA YOSHIO
(22) Date of filing: 29.06.1987	(72) Inventor: MIURA YOSHIO

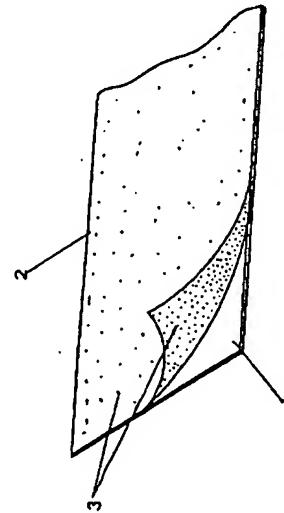
(54) CONSTITUTION RELATED TO PRODUCTION
OF INSECTICIDAL PAPER

COPYRIGHT: (C)1989,JPO

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain an insecticidal paper capable of repelling and preventing the generation of unpleasant insect pests and preventing an undesirable smell caused by moisture by making the insecticidal paper have a constitution formed by integrally sticking a specific plastic film to a surface sheet coated with a preventive repellent for unpleasant insect pests and a deodorant.

CONSTITUTION: A processed paper 1 is coated or impregnated with proper amounts of a preventive repellent of unpleasant insect pests and a concomitant agent such as a deodorant. A plastic film sheet 2 having plural meshed fine pores 3 is integrally stuck to the surface of the processed paper to give the objective insecticidal paper.



⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報 (A) 昭64-6199 (11)

⑫ Int. Cl. 4
 D 21 H 5/22 識別記号 厅内整理番号 ⑬ 公開 昭和64年(1989)1月10日
 B 32 B 5/18 C - 7003-4L
 27/10 7199-4F
 D 21 H 1/02 6762-4F
 5/22 C - 7003-4L
 D - 7003-4L 審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 防虫紙の製法に係る構成

⑮ 特願 昭62-162100
 ⑯ 出願 昭62(1987)6月29日

⑰ 発明者 三浦 義男 静岡県富士宮市元城町16-2
 ⑱ 出願人 三浦 義男 静岡県富士宮市元城町16-2

明 詳 書

1. 発明の名称

防虫紙の製法に係る構成

特許請求の範囲
 2. 特許登録請求の範囲

加工紙(1)は不快害虫の予防忌避剤および消臭剤等の併用剤を適量に塗布又は浸漬せしめ其の表面シート(2)はメッシュ状の複数個からなる複数孔(3)を有するプラスチックフィルムを一体に貼付け構成装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、不快害虫(ゴキブリやダニ、虫などの害虫)の発生忌避予防と駆除効果および湿気によるイヤな臭いとカビ発生等を未然に防止する衛生防虫紙(シート)に関するものである。

要するに、厨房の食器棚、引出し(キッチンルー

ム)や押入れ(寝具、物品箱、衣類収納箱等)、収納庫、飾り棚、化粧台、収物などには不快害虫のゴキブリやダニ等の発生条件に適し苦慮して現状である。

従来この種は、単に食器棚シート又は収物シートとしてビニール製シートが広く販売されている。新様に、本発明は前記で述べた如く良を改良する目的に於いて製法上特殊な予防忌避剤(主に、トルイド系およびビレスロイド系、フェニトロチオン系等の適用成分)並びに消臭剤(ビオサイド系等の適用成分)の併用剤によって天然パルプの加工紙又は天然パルプと合成繊維より成る不織布等に適量を塗布又は浸漬せしむるもので特に、表面(上面)にはメッシュ状からなる通気性を形成したプラスチックフィルムを一体に貼付けする組合せ方法である。

特に、フィルムは3ミリロン以下のピンホールを有するものを使用するのが適当である。この様に、本発明は特殊処理方法により構成される為に用途に応じ「防虫シート」としてサイズに合せハサミで自由にカットし収物に用いることができるものである。

特開昭64-6199 (2)

而も、手や皮膚に障害を与えることのない併用剤により組成するので衛生的且、安全に使用できる防虫シートである。

以下、図面に基づき一実施例を述べると加工紙(1)はシート状となし天然パルプ又は天然パルプと合成繊維より成る不織布等を用いるもので当該加工紙(1)は先に叙述した特殊な予防忌避剤(殺虫効果を有する)および消臭剤等の併用剤を適量に塗布又は浸漬せしめ其の表面シート(2)即ち、上面部はメッシュ状に穿設した複数個の微細孔(3)を有するプラスチックフィルムを一体に貼付する装置である。

従つて、当該微細孔は加工紙(1)の併用剤が通気効果により発散し、防虫且、イヤな臭いやカビ臭予防並びに駆除と発生を未然に防止するものである。

斯く、本発明は環境空間を衛生的に保持する目的に於いて創造するもので使用上に表面汚れを生じた時も水拭きして何度も効果的に使用できる防虫シートである。

更に、特記すべき一例として防虫効果は甚より不快臭は、稍早く中和反応により無臭化となし吸

収性は顯著なる優れた発明である。

4. 図面の簡単な略説

第1図は、本発明に係る加工紙に貼付けするプラスチックフィルムを展開した斜面図。

第2図は、加工紙にプラスチックフィルムを一体に貼付け当該プラスチックフィルムに穿設した複数個の微細孔を拡大に示した断面図。

1: 加工紙 2: 表面シート 3: 微細孔

特許出願人 三浦義男

